

シクラメンの入荷がピーク！品評会では本県産が特別賞受賞！

12月に入り冬本番となった花き市場では、鉢物の王様と言われる“シクラメン”の入荷がピークを迎えています。全国屈指の産地である本県産のシクラメンも至るところで見かけることができ、鉢を覆い隠すほどのボリュームたっぷりの特大サイズから10cm以下のミニサイズまで大小様々なシクラメンが取引されています。

また、都内花き市場に本格的なシーズン到来を告げる恒例行事「全国花き品評会シクラメン部門」が11月29日に東京・大田市場で開催され、本県生産者の出品物が特別賞を数多く受賞するなど、例年どおりその技術力の高さを証明しています。

さらに、日本一の鉢物取扱量を誇る愛知豊明花き地方卸売市場でも「鉢物品評会2017鉢花・蘭の部」が行われ、本県生産者が特別賞を受賞しています。

全国花き品評会 シクラメン部門

- 日時／11月29日(水) 審査13:00～、一般公開19:00～
- 場所／東京都中央卸売支場大田市場花き棟
(株)フラワーオークションジャパン)
- 主催／一般社団法人日本花き生産協会
- 出品点数／454点 (うち、本県131点)

鉢物品評会2017 鉢花・蘭の部

- 日時／11月14日(火)～16日(水)
- 場所／愛知豊明花き地方卸売市場 (豊明花き(株))
- 主催／豊明花き(株)
- 出品点数／388点

天候不順を乗り越えて、各生産者が高い技術力を発揮！

今年は8月・10月の長雨曇天、台風の連続到来など不安定な気象条件となり、日照不足による徒長や病害発生、開花時期のずれなどが心配されました。しかし、若干の開花前進はあったものの、主産地を中心に大きな影響はなく、5号鉢などの中鉢サイズのシクラメンは10月下旬頃より順調に入荷が始まりました。本県産においても一部で出荷時期の多少の前進があったものの、品質自体への影響は無く、栄養診断技術をはじめとした各生産者の技術レベルの高さにより、おおむね例年どおりの出荷状況となっています。

大田市場で行われた品評会においても上位入賞した出品物の品質は前年よりも高いと評価されるなど、上位に名を連ねる生産者の技術力の高さを示す結果となりました。

一方、審査にあたった小売関係者からは、鉢サイズとのバランスが悪い(株が大きすぎる)と、販売店や消費者が管理しにくく、棚保ちも悪いという意見があり、上位入賞しているような大きな株のシクラメンが売れ筋とは限らない、と指摘がありました。



シクラメンの入荷ピークを迎えている市場



(株)誠文堂新光社「農耕と園芸」賞
ミニ'ウィンクピンク'(坂本正次)



東京園芸市場協同組合理事長賞
'聖夜のあかり'(小久保憲一)



農林水産大臣賞
'ヨハンシュトラウス'(根本修二)

平成29年度全国花き品評会シクラメン部門 金賞受賞者(上位3席及び本県産)

賞名	出品者	規格	商品名
農林水産大臣賞	福島県 根本修二	6号	'ヨハンシュトラウス'
農林水産省生産局長賞	福島県 根本修二	5号	'シューベルト'
(公社)園芸文化協会会長賞	福島県 根本修二	6号	'シューベルト'
東京園芸市場協同組合理事長賞	群馬県 小久保憲一	7号	'聖夜のあかり'
(株)誠文堂新光社「農耕と園芸」賞	〃 坂本正次	5号	ミニ'ウィンクピンク'
(株)花卉園芸新聞社賞	〃 坂本正次	5号	ミニ'ウィンクシャワーピンク'
(株)グリーン情報「Garden Center」賞	〃 折原孝昌	6号	'ピラス'
(株)フラワーオークションジャパン社長賞	〃 峯崎宏之	6号	ミニ'ローゼスローズ'